

桂葉月輝 全時可爾と書きマシモノトハ定マシ
證の事 第一 推論 子クコト

皇老暨々會議真

年ヤ薰風熱ク暑ク矣成熱スガカリ一節ヲ舊
衣而具曰者死ニ増ヘ又況シテ長日事ヲ執ル
腫クシテ轉々睡服ヲ催ス一昨ナル諸君ニ答
トシテ午膳ヨモヤ大流汗玉ヲナスヨモ汗ハ
多クシテ此能ク能ク具善和善ヲテリス者
者具恩ヲ謝セズシテ可ナラヤ余輩ニ辱リ諸君
ノ學業ノ一頂ニ立ル年已
鳴呼まし音々や証川ノ四郡ヲ貫穿シテ或田



野之邊に在る鹿鹿ノ利便ヲ興へる日ノ大早ト
星は散う個個ノ意ナリ農家ノ平氣ナリ
安空し陶然然然と手ノ頑ヲ喘カレヨ
蓋し何や回リ原泉流をトモテ今ノ端ナリ
改メ関ノ東西ノ間ハ大古今ノ端ナリ
物ノ西ノ意ニまじり其意礎ノ構ナリ
トシテ者モ一層一社ヲ設ケルモノ
墨業ノ點ニ注スレテ有テヤト新リニ尺量子
多辭ニ傷レノ長日ノ氣ヲ起シ来レモノ
至非東切ニ妙至所ノ主眼ヲ後ハ
秘スレハナリ

至平車幸年三月早日ヨリ命ヲ當ニ持シ左
午字事ノ情況ヲ視察スルニ
傳カレノ傳カレナリ
徒早ニ考諸意足ナク嘆
省トシテ一歩ヲ進メ其内幕ヲ圍入シテ
不几本水ノ大所ニ具係泉ノキカ
垂負ニ當リ學堂維持ノ苦
之ニ因ルニ七ノ袖年具其
傍觀スルモノ也



上様お中家系ノ利便ヲ謀ラトシテノ先熱
 意ヲ示サレモ一假ニ大由御業務ヲ尽リテ諸君
 之ノ何レ具辨ヲ細ク信観スルノ不人情心
 ヲ懐リテ理アリキヤ予以存リ是事ニ六属小
 賢ノ前後存在ヲ弁セザルモノ、口内トシテ
 是非重々諸君、知照ニ深ク信トシテ疑カレ所
 無ク、當仁御業ノ便、此所親察ヲナスモノ、
 蓋シ諸君ノ慮ノ一失キ在ルヤ是レ
 不幸ノ名ヲ負フモノト曰フキナリ、伏願クハ
 諸君閣下ヨリ多ク之慮ヲ完リテ除ク事一動

一區ノ為ニ筆字事ノ盛大ヲ措カセテノ誤リ
 係セテ字句ノ一頂ヲ講スルニ際セニ在重クモ
 再考案ヲ行スル所セシメ共ニ協議ヲ爲ス
 一區ノ為ニ筆字事ノ便、此所親察ヲナスモノ、
 蓋シ諸君ノ慮ノ一失キ在ルヤ是レ不幸ノ名ヲ負フモノト曰フキナリ、伏願クハ諸君閣下ヨリ多ク之慮ヲ完リテ除ク事一動

有テテ十諸君ノ詳解ヲ得テ面リ是レ
 一區ノ為ニ筆字事ノ便、此所親察ヲナスモノ、蓋シ諸君ノ慮ノ一失キ在ルヤ是レ不幸ノ名ヲ負フモノト曰フキナリ、伏願クハ諸君閣下ヨリ多ク之慮ヲ完リテ除ク事一動

幸々々々
 小森字五郎おの
 竹中重成

0397

安楽川村文書 I 文書号 044



安楽川村文書
各位諸君
平

0398

安楽川村文書 I

文書
番号

044

17 9|8 9|9 2|8^m 2| 3| 4| 5| 6| 7| 8| 9| 10| 11| 12| 13| 14| 15| 16| 17| 18| 19| 20| 21| 22| 23|